



ライチョウ

乗鞍では約100羽が生息していると言われています。天候が良くない日に見かけます。



ハイマツ

ライチョウがワシ・タカ類から身を守るための隠れ場所。芽や種子がライチョウの餌となります。



ミネズオウ

お花畑の木道の入口あたりに群生しています。丈は低く5cmほどですが、木の仲間です。



オコジョ

とても素早い動きをします。岩の間などから愛らしい顔をひょっこり出します。



イワツバメ

畳平は営巣適地の建物があり、巣の材料と餌の昆虫が豊富で、絶好の繁殖地です。



イワヒバリ

岩場で営巣、子育てをします。人をあまり恐れられないので近くで観察することができます。



ホシガラス

カケスくらいの大きさと、白、茶、黒のまじりの鳥です。夏の終わりからよく見かけます。



クモマベニヒカゲ

黒地にオレンジ色の帯模様のある高山蝶です。桔梗ヶ原・畳平でまれに見かけます。



クジャクチョウ

畳平のお花畑周辺で7月中旬からよく見かけます。鮮やかな茶色と円形模様が目印です。



ナナカマド

秋に赤色に紅葉し、1cm位の赤い果実をつけます。肩の小屋口バス停周辺の紅葉は鮮やかです。



コイワカガミ

朝露に濡れた光沢のある葉が太陽で照らされる様子は鏡のようです。ピンクの花をつけます。



ヨツバシオガマ

ノコギリのような葉が輪生しています。夏の比較的早い時期にピンク色の花をつけます。

美しい乗鞍岳へようこそ 動植物図鑑

中部山岳国立公園は日本の代表的な山岳公園です。乗鞍岳一帯は、国立公園の中でも最も規制の厳しい特別保護地区に指定されていて貴重な自然の残る大切な地域です。マナーを守ってすばらしい自然をお楽しみください。



キバナシャクナゲ

高山植物の中でいち早く咲きます。花の時期が過ぎると真ん中に赤みがさしてきます。



クロユリ

茶褐色の花をつけます。お花畑入口の湿地帯などに生えます。においが良くないのが残念。



ミヤマキンバイ

乗鞍では比較的良好に見かけます。葉はイチゴの葉に似ており、黄色い5枚の花弁をつけます。



ハクサンイチゲ

畳平のお花畑は大量生地です。白い花をつけます。若芽や黒い果実はライチョウのエサとなります。



アオノツガザクラ

雪渓のわきなどの湿地や岩場に生えます。おちよぼ口の青白い顔(花)をつけます。



コマクサ

高山植物の女王の姿をしています。花が咲くのに5年以上かかるといわれています。



チングルマ

白色のかわいらしい花をつけます。果実が風車に似ていることからこの名がつけられた。



コケモモ

肉厚の葉のツツジ科の低木。白桃色の釣鐘状の花が咲き、後赤く丸い実をつけます。



クルマユリ

夏の後半にオレンジ色の花をつけます。葉が輪生することからこの名がつけられています。



イワギキョウ

青紫色の花が上向きに咲きます。桔梗ヶ原から畳平付近の小石や砂地でよく見かけます。



ウメバチソウ

かわいらしい姿の白く咲く花と小さい葉が特徴的です。やや湿ったところに生えています。



ミヤマミミナグサ

大きな株になり、白い清楚な花をつけます。花期は長く鶴ヶ池周辺でよく見かけます。



ウサギギク

15から17枚ほどの黄色の花びらをつけます。高山蝶や花アブがこの花をよく好みます。



トウヤクリンドウ

畳平では、お盆すぎに咲きます。太陽の光に敏感で曇るとすぐ花が閉じてしまいます。



オンダテ

花は地味ですが、草丈が大きいので目立ちます。比較的高いところでも見つけられます。

〈皆様へのお願い〉

- ① 決められた道を歩き、道のわきや草原に入らないでください。
- ② 高山植物を採ったり踏まないでください。
- ③ ゴミはお持ち帰りください。タバコの吸い殻を捨てないでください。
- ④ 乗鞍岳には野営指定地はありません。テントを張らないでください。
- ⑤ たき火をしないでください。
- ⑥ トイレはきれいに使しましょう。
- ⑦ ベットを持ち込まないでください。

乗鞍自然環境案内所 ☎090-8671-3191

(乗鞍バスターミナル内)

このリーフレットは乗鞍環境保全税を活用し作成しています。

乗り換え駐車場からのバス運行料金

ほおのき平駐車場(1,500台)～乗鞍畳平平湯温泉あかんだな駐車場(800台)～乗鞍畳平
・大人往復2,200円 ・小人往復1,100円

乗り換えは、バスの便数が多く駐車場とバスターミナルが一体のほおのき平が大変便利です。

JRをご利用の方はJR高山駅隣接の高山濃飛バスセンターより、新穂高山温泉行き路線バスにて「ほおのき平」または「平湯温泉」下車。



乗鞍岳トレッキングコース

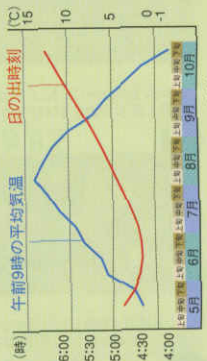
乗鞍岳は、北アルプスの南端に位置し、剣ヶ峰(3,026m)を最高峰に、23の峰と7つの湖と8つの平原があり、四季を通じて美しい景観を楽しむことができます。その姿が馬の鞍に似ていることから「乗鞍」と呼ばれるようになりました。

to Matsumoto
至松本方面

to Hounoki&Hirayu
至ほのおのき平
・平湯方面

- 乗鞍山頂の施設
- 1 乗鞍バスターミナル(濃飛バス・松本電鉄)
(乗鞍券発売所、食堂・みやげ、無料休憩)
 - 2 一万尺(郵便局、みやげ)
 - 3 乗鞍本宮神社(神社、喫茶)
 - 4 銀嶺荘(宿泊、食堂、みやげ・休憩)
 - 5 白雲荘(宿泊、食堂、みやげ)
 - 6 肩の小屋(宿泊、食堂、みやげ)
 - 7 頂上小屋(みやげ)

- 乗鞍総合案内所
- ☎090-8671-3191
 - ☎090-3300-3145
 - ☎090-3480-3136
 - ☎0263-93-2001
 - ☎0263-93-2256



朝の平均気温・日の出時刻



剣ヶ峰



お花畑と恵比須岳



残雪のスカイライン



魔王岳より北アルプス連峰を望む



- 豊平駐車場から徒歩で
- 剣ヶ峰(頂上)まで 1時間30分
 - 大黒岳まで 40分
 - 富士見岳まで 40分
 - 肩の小屋まで 30分
 - 魔王岳まで 15分
- バス停「肩の小屋口」から徒歩で
- 肩の小屋まで 40分
 - 位ヶ原山荘まで 60分

- 前穂高岳 3090m
- 西穂高岳 3190m
- 奥穂高岳 2909m
- 穂ヶ岳 2455m
- 鷹羽岳 2924m
- 沢ノ岳 2860m



Oshibiki お花畑



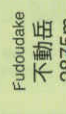
Ebisudake 恵比須岳



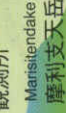
Kamegake 亀ヶ池



Gonoko 五ノ池



Fudoudake 不動岳



Manisendake 摩利支天岳



Kiezugake 不消ヶ池



Katanokoya 肩の小屋



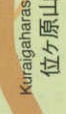
Katanokoyaguti 肩の小屋口



Kuraigaharatsansou 位ヶ原山荘



Dalkokuake 大黒岳



Tsurugake 鶴ヶ池



Maoudake 魔王岳

乗鞍岳 動物植物図鑑

マナーを守ってすばらしい
自然をお楽しみください。



5~10月

クイチヨウ(雷鳥)

国の特別天然記念物に指定され、乗鞍岳一帯には約100羽しか生息していないと推定されており、保護しなければならぬ貴重な種です。6~7月に産卵・育雛し、夏は茶色、冬は白色に羽毛が生え変わり、天敵から身を守っています。



7~8月

クジヤクチョウ

豊平のお花畑周辺で7月中旬からよく見かけます。鮮やかな茶色と大きな目玉模様がクジヤクの飾り羽のように見えます。



7~8月

アオツツガザラ

雪渓のわきなどの湿地や岩場に生えます。おちよほ口の青白い花をつけます。



7~8月

イワギキョウ

青紫色の花が上向きに咲きます。桔梗ヶ原から豊平付近の砂利地でよく見かけます。



7~8月

イワツツメクサ

中部地方の高山のみに生える植物です。花期が長くお花畑への階段の周辺でよく見かけます。



7~8月

ウサギギク

15から17枚ほどの黄色の花びらをつけます。高山蝶や花アブがこの花をよく好みます。



7~8月

ウメハチソウ

かわいらしい姿の白く咲く花と小さい葉が特徴的です。やや湿ったところに生えています。



8月

オンタデ

花は地味ですが、草丈が大きいので目立ちます。豊平周辺でよく見かけます。



6~7月

キバナシヤクナゲ

高山植物の中でいち早く咲きます。花の時期が過ぎると真ん中に赤みがさしてきます。



8月

クルマユリ

夏の後半にオレンジ色の花をつけます。葉が輪生することからこの名がついています。



6~10月

イワヒバリ

岩の隙間などで6~7月に産卵・育雛します。多夫多妻で繁殖し個体数も多く、岩場や豊平のお花畑でよく見かけます。



5~10月

カヤクグリ

ハイマツ林に生息しています。小さい群れで雪渓の上やお花畑を歩きながら昆虫や種子を食べることがあります。



6~10月

ホシガラス

全体的に黒茶色で白色の斑点が縞になっています。8月下旬になるとハイマツの実を食べるために上がります。



5~10月

オソジ

岩や樹根の隙間などに巣築しますが、人前に姿を現すことは稀です。夏は背が茶色で腹が白色、冬は全身が白色となります。



7~8月

ツキノワグマ

のど元の白い毛が三日月状に見えることから名前が付いています。夏は標高が高い所へ移動して生活するため乗鞍岳一帯で目撃されます。



7~8月

クロユリ

茶褐色の花をつけます。豊平のお花畑入口の湿地帯などに生えます。



7~8月

コイワカガミ

朝露に濡れた光沢のある葉が太陽の光で照らされるようすは鏡のようです。



7~9月

コケモモ

葉が肉厚のツツジ科の低木。白桃色の釣鐘状の花が咲き、その後は赤く丸い実をつけます。



6~8月

コバイケイソウ

高山植物の中では比較的草丈が高い植物です。花が咲く年とまったく咲かないと年があり不思議です。



5~10月

コマクサ

花が馬の顔に似ているため駒草の名がつけられました。花が咲くのに5年以上かかるといわれています。



7~9月

タカネナカマド

花は白色で秋は真っ赤に紅葉し実をつけます。乗鞍エコーライン周辺の紅葉は鮮やかです。



7~8月

チングルマ

白色のかわいらしい花をつけます。果実が風車に似ていることからこの名がつけられました。



8~9月

トウヤクシンドウ

豊平のお花畑で見られ8月下旬に咲きます。太陽の光に敏感で曇るとすぐ花弁を閉じます。



5~10月

ハイマツ

ライチョウが天敵から身をを守るための隠れ場所となります。芽や種子がライチョウの工サとなりります。



7月

ハクサンイチゲ

白い花をつけ豊平のお花畑は大群生地です。若芽や黒い果実はライチョウの工サとなります。



7~8月

ミネウキソウ

真綿で覆われたように多くの毛がついています。ヨロツバアブスに咲くエーテルワイスの仲間です。



7月

ミネスオウ

豊平のお花畑の木道入口あたりに群生しています。丈は低いです。木の仲間です。



7~8月

ミヤマキンバイ

乗鞍岳ではよく見かけます。葉はイチゴの葉に似ており黄色い4枚の花弁をつけます。



7~9月

ミヤマミナグサ

大きな株になり、白い清楚な花をつけます。花期は長く鶴ヶ池周辺でよく見かけます。



7~8月

ミヤマダイコンソウ

豊平周辺の登山道の岩場などでよく見られます。ダイコンの葉に似ていることからこの名がつけられました。



7~8月

モミジカラムツ

わふわとした白色の清楚な花をつけます。葉の形がモミジに似ていることからこの名がつけられました。



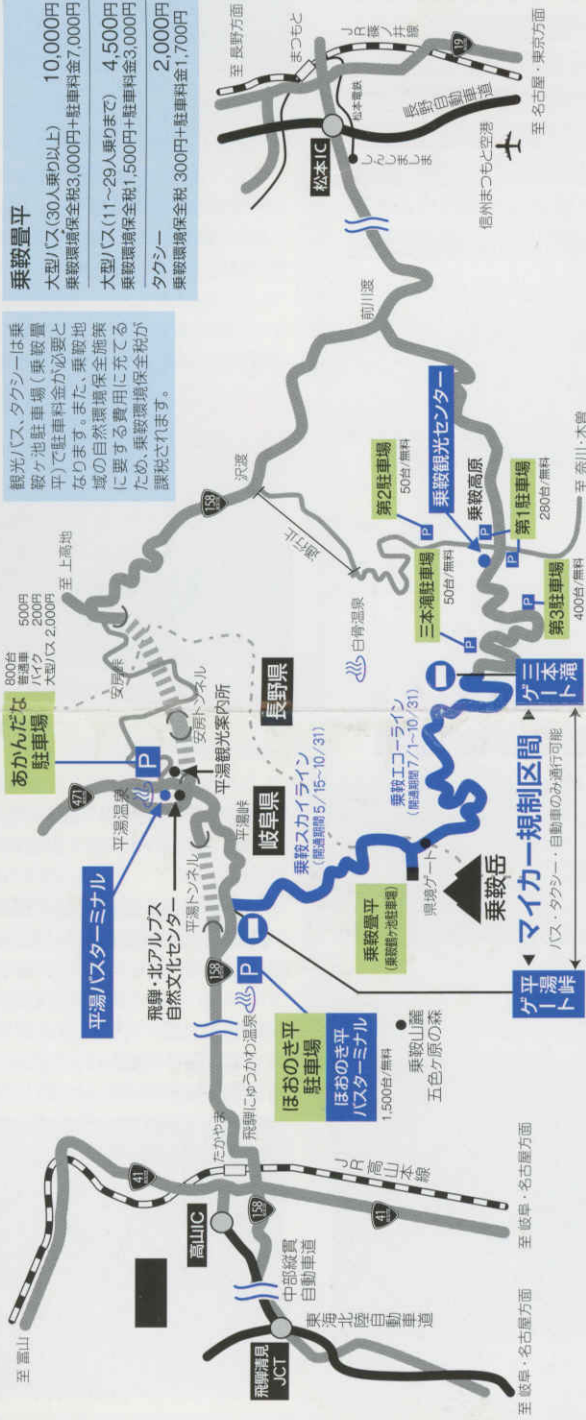
7~8月

ヨツバシオガマ

ノコギリのような葉が輪生しています。夏の比較的早い時期にピンク色の花をつけます。

乗鞍岳へは、バス、タクシーでお出かけください。

乗鞍岳



乗鞍イベントカレンダー

- 5月15日 乗鞍岳山開き祭
乗鞍スカイライン開通(岐阜県側)
安全祈願祭と地酒樽開きが行われます。
- 5月15日~6月上旬 雪の白壁見ごろ
- 7月1日 乗鞍エココーライン開通(長野県側)
- 7月第1日曜 乗鞍スカイラインサイクルヒルクライム大会
- 7月中旬~8月中旬 キバナヤクナガハクサンイチゲミヤマキンバイ、コマクサなどが開花します。
- 8月8日 乗鞍本宮例祭
畳平で獅子舞が奉納されます。
- 8月中旬~9月上旬 乗鞍岳星空観察会
乗鞍岳の宿泊施設に泊まり、移動天体観測車で星空を観察します。
- 8月下旬日曜 全日本マウンテンサイクルング in 乗鞍
- 9月中旬~10月中旬 紅葉の見ごろ
肩の小屋口・猫岳・平湯峠などでは、ナナカマドの赤色やダケカンバの黄色が鮮やかです。

アクセス



お問い合わせ

高山市 丹生川支所
〒506-2192 高山市丹生川町坊方2000 TEL.(0577)78-1111

乗鞍総合案内所 (5月15日~10月31日)
〒506-2254 高山市丹生川町岩井谷乗鞍 Tel.090-8671-3191

乗鞍観光協議会 (通年)
〒506-2192 高山市丹生川町坊方2000
Tel.(0577)78-2345・Fax.(0577)78-2011
URL <http://www.hida-norikura.com>

このフリープレートは乗鞍環境保全料を活用し作成しています。

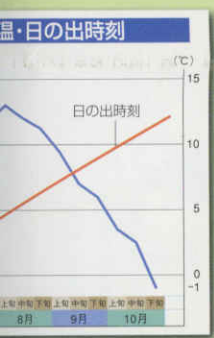
中部山岳
国立公園

乗鞍岳散策マップ

乗鞍岳は、北アルプス(飛騨山脈)の南端に位置し、剣ヶ峰(3,026m)を最高峰に23の峰と7つの湖、8つの平原があり、四季を通じて美しい景観を楽しむことができます。

- 乗鞍岳の自然環境保全事業に活用するため、乗入れる自動車(利用者)より岐阜県乗鞍環境保全税を頂いています。
- 乗鞍岳は標高2,500m以上の高山地帯です。天候の変化や体調管理に十分注意をはらい行動してください。
- 乗鞍岳一帯は国立公園の中で最も規制の厳しい特別保護地区に指定されています。

北アルプス連峰



| 時間 | 所要時間 |
|--------|----------|
| 1時間30分 | 乗鞍エコーライン |
| 40分 | 肩の小屋口 |
| 40分 | ご来光 |
| 30分 | 大黒岳 |
| 15分 | 大黒岳 |
| から徒歩で | |
| 40分 | 大黒岳 |



| 施設名 |
|-----------|
| 乗鞍バスターミナル |
| 濃飛バス |
| アルピコ交通 |
| 乗鞍本宮神社 |
| 乗鞍山頂郵便局 |
| 一万尺売店 |
| 銀嶺荘 |
| 白雲荘 |
| 肩の小屋 |
| 頂上小屋 |
| 冬期の施設運 |



北アルプス連峰

中部山岳 国立公園

乗鞍岳

乗鞍岳は、北アルプス(飛騨山脈)の南端に位置し、剣ヶ峰の8つの平原があり、四季を通じて美しい景観を楽しむ

- 乗鞍岳の自然環境保全事業に活用するため、乗入れる自動車(利用者)
- 乗鞍岳は標高2,500m以上の高山地帯です。天候の変化や体調管理
- 乗鞍岳一帯は国立公園の中で最も規制の厳しい特別保護地区に指定



剣ヶ峰より望む北アルプス連峰



白銀の世界と雪の白壁

5月

4月中旬に山麓の平湯峠から始まる乗鞍スカイラインの除雪作業は、5月上旬に終点の乗鞍岳畳平に到達し、雪に埋もれた観光施設が姿を現します。

乗鞍岳の春は5月15日に行われる山開き祭とともに訪れます。当日は安全祈願と伝統芸能披露や地酒樽開きが行われシーズンの始まりを祝います。

乗鞍スカイライン沿いでは大型バスより高い雪壁が続き、鶴ヶ池周辺では雪の回廊を楽しめます。



6月

残雪とハイマツのコントラスト

山麓では初夏を迎えますが乗鞍岳はまだ残雪に覆われ、ハイマツや岩肌とのコントラストを楽しめます。

この時期は修学旅行生が多く訪れ、畳平周辺では雪遊びの歓声がこだまします。また、雪渓(スキー指定地)ではスキーやスノーボードを楽しめます。



7月

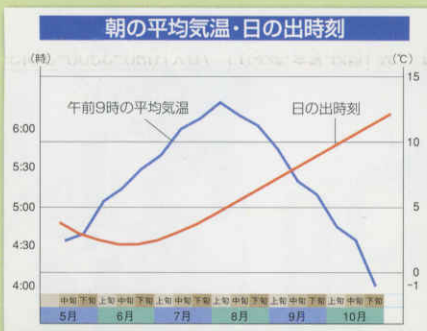
可憐な高山植物の競演

乗鞍岳に短い夏が訪れ、高山植物が可憐な花を咲かせます。畳平の南側に広がるお花畑では、さまざまな種類の高山植物を楽しめます。

7月上旬には乗鞍スカイラインを一気に駆け上がる自転車レース「乗鞍サイクルヒルクライム」が開催されます。近年は雄大なパノラマを満喫できる乗鞍岳を目指すサイクリストが増えています。

花の見頃である7月中旬から8月中旬には乗鞍自然観察指導員による自然観察教室が開催され、乗鞍岳の自然環境や動植物について散策しながら案内します。

また、畳平から最高峰の剣ヶ峰(3,026m)まで1時間30分程で登ることができ、手軽に夏山登山を楽しめることから多くの登山者で賑わいます。



| | |
|-----------------|--------|
| ■ 畳平から徒歩で(片道) | |
| 剣ヶ峰(頂上)まで | 1時間30分 |
| 大黒岳まで | 40分 |
| 富士見岳まで | 40分 |
| 肩の小屋まで | 30分 |
| 魔王岳まで | 15分 |
| ■ バス停肩の小屋口から徒歩で | |
| 肩の小屋まで | 40分 |



- 北ノ岳 2,662m
- 笠ヶ岳 2,897m
- 双六岳 2,860m
- 水晶岳 2,986m
- 野口五郎岳 2,924m
- 焼岳 2,455m
- 新穂高
- 四ツ岳 2,744m
- 大丹生岳 2,698m
- 桔梗ヶ原
- 魔王岳より望む北アルプス連峰

乗鞍山頂散策マップ

し、剣ヶ峰(3,026m)を最高峰に23の峰と7つの湖、
楽しむことができます。

利用者)より岐阜県乗鞍環境保全税を頂いています。
管理に十分注意をはらい行動してください。
に指定されています。



豊平から眺める天の川



| 乗鞍山頂の施設 | | | |
|-----------------------------------|-------------|------|--------------------------|
| 施設名 | 業務内容 | 収容人員 | 電話番号 |
| 乗鞍バスターミナル | 食堂・みやげ・バス待合 | | 乗鞍総合案内所 090-8671-3191 |
| 濃飛バス | 乗車券販売・みやげ | 200人 | |
| アルピコ交通 | | | |
| 乗鞍本宮神社 | 神社・みやげ | | |
| 乗鞍山頂郵便局 一万尺売店 | 郵便業務・みやげ | | |
| 銀嶺荘 | 宿泊・食堂・みやげ | 70人 | 090-3300-3145 |
| 白雲荘 | 宿泊・食堂・みやげ | 70人 | 090-3480-3136 |
| 肩の小屋 | 宿泊・食堂・みやげ | 200人 | 0263-93-2001 |
| 頂上小屋 | みやげ | | 090-1561-6434 |
| ■ 冬期の施設連絡先案内 乗鞍観光協議会 0577-78-2345 | | | |

| 凡 例 | |
|-----|---------|
| | 車 道 |
| | 歩 道 |
| | 木 道 |
| | 公衆トイレ |
| | ビューポイント |



8月

満天の星空と神秘的な御来光

乗鞍岳のもうひとつの魅力は、手が届くような満天の星空です。乗鞍岳の宿泊施設に泊まり外に出て天空を見上げれば、天の川や夏の星座が広がる天然のプラネタリウムです。

8月中旬から9月上旬には移動天体観測車と講師を招いて乗鞍岳星空観察会が開催されます。

また、早朝に起き出て岐阜県と長野県境にあたる富士見岳や大黒岳へ向かえば、空がうっすらと白み始め、雲海の彼方から神秘的な御来光を迎えます。



9月

色鮮やかに染まる紅葉

乗鞍岳は紅葉シーズンを迎え、9月中旬から10月上旬にかけて紅葉前線が早急に山麓へと降りていきます。

お花畑ではコケモモやチングルマなどの高山植物が赤く紅葉します。

また、乗鞍スカイラインの夫婦松展望園地周辺や乗鞍エコラインの大雪渓周辺から乗鞍高原にかけての沿道は、真っ赤なナナカマドや黄色のダケカンバなど色鮮やかな紅葉に染まります。



10月

ひと足早い冬の訪れ

秋から初冬にかけて高山盆地一帯は放射冷却による朝霧が立ち込め、乗鞍岳は雲に覆われて見えない日があります。

そんなとき乗鞍スカイラインを通り標高2,500mを超えると眼下に雲海が広がり北アルプス連峰が雲上に浮かんで見えます。

10月中旬になると乗鞍岳では初氷や初積雪が観測され、ひと足早い冬の訪れを告げます。10月31日に乗鞍スカイラインと乗鞍エコラインは冬期閉鎖となり、やがて厳しい冬を迎えます。

